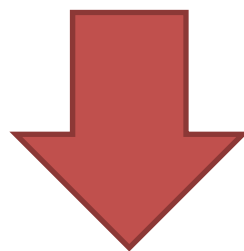


どんな**食材**が  
**危**ないの？

# 計測は2万6千件以上

- 800品目中78品目が暫定基準値越え
- 検査に偏りがある
  - 牛肉1万件、米2700件、ほうれん草1000件
  - 半分以上の品目が1～3件の検査のみ



放射能汚染の傾向を知ることが重要

## 葉菜 (Bq/kgの最大値)

品目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アブラナ	8900	2500	0				
カキナ	555	410	8				
カブ	830	4100	570	0	0	0	40
キャベツ	2700	1720	400	20.1	1.24	0	8.1
コマツナ	3600	1690	103.1	46	0	0	0
セリ		1960			300	67	
チヂレナ	9000						
パセリ	2110	409	1110	9.6	0		0
ビタミンナ		9600					
ブロッコリー	13900	2900	430	14	11	0	0
ハウレンソウ	40000	22000	240	122	0	0	0
ミズナ	3300	910	19	0	0	0	0

(不検出ND=0として集計)

# 野菜はどうなった？

- 葉菜のリスクは減った
  - 3月・4月のような高い汚染は発見されていない
  - 降下物の直接付着の影響は軽減された
- 今後も、周囲が必要な食材
  - キノコ類（特に野生は注意）
  - ナッツ（栗、ぎんなん）
  - ベリー類（ブルーベリー）

チェルノブイリから学ぶ

# 肉

- 牛肉 → 全量検査
- 豚・鶏は低い値で推移している
- 野生の動物は要注意
  - 北欧のトナカイ
  - シカ・イノシシ

# 海洋生物の汚染

海水 → プラankトン → 小魚 → 捕食魚

1

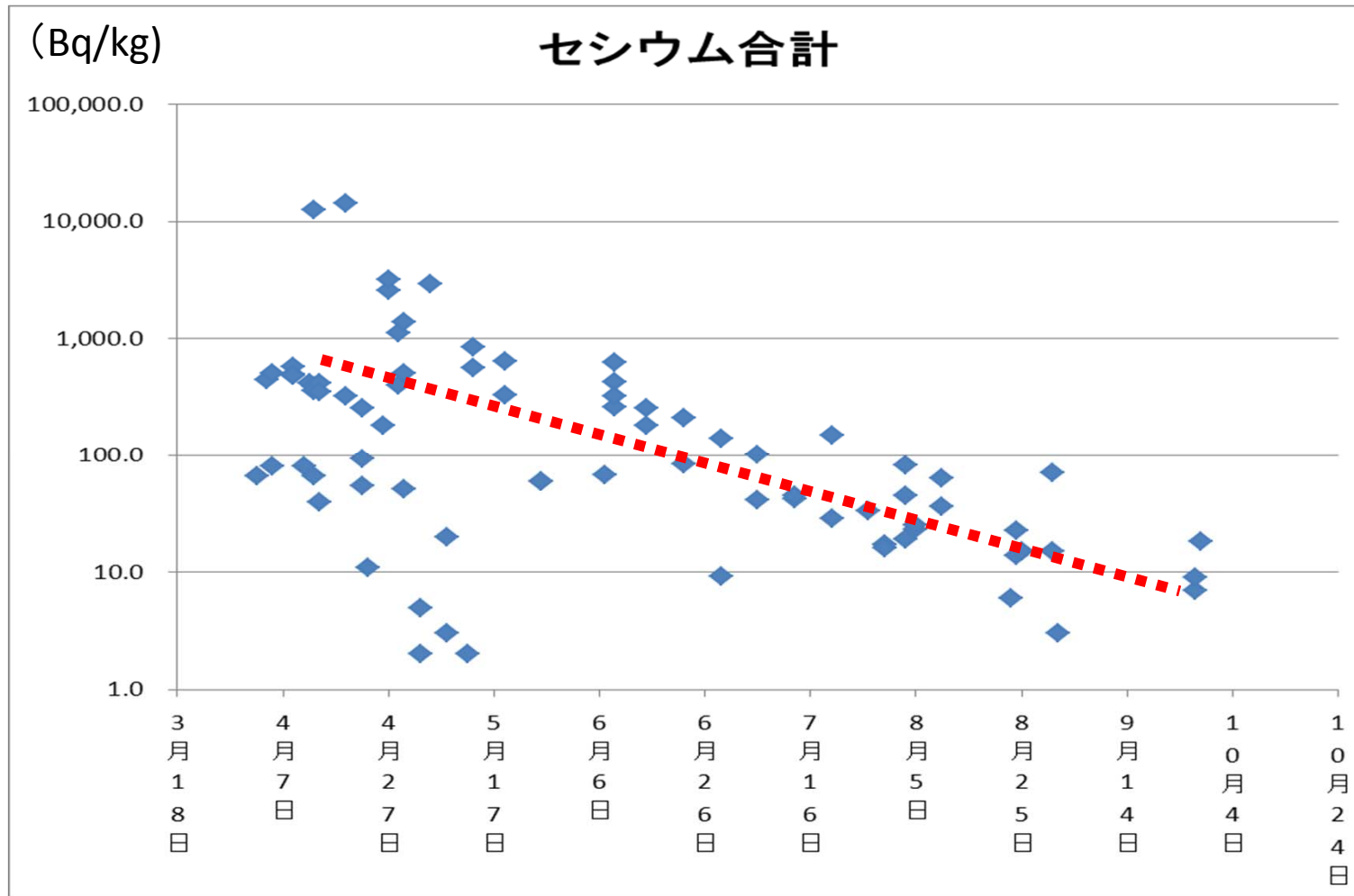
20-40

50

100

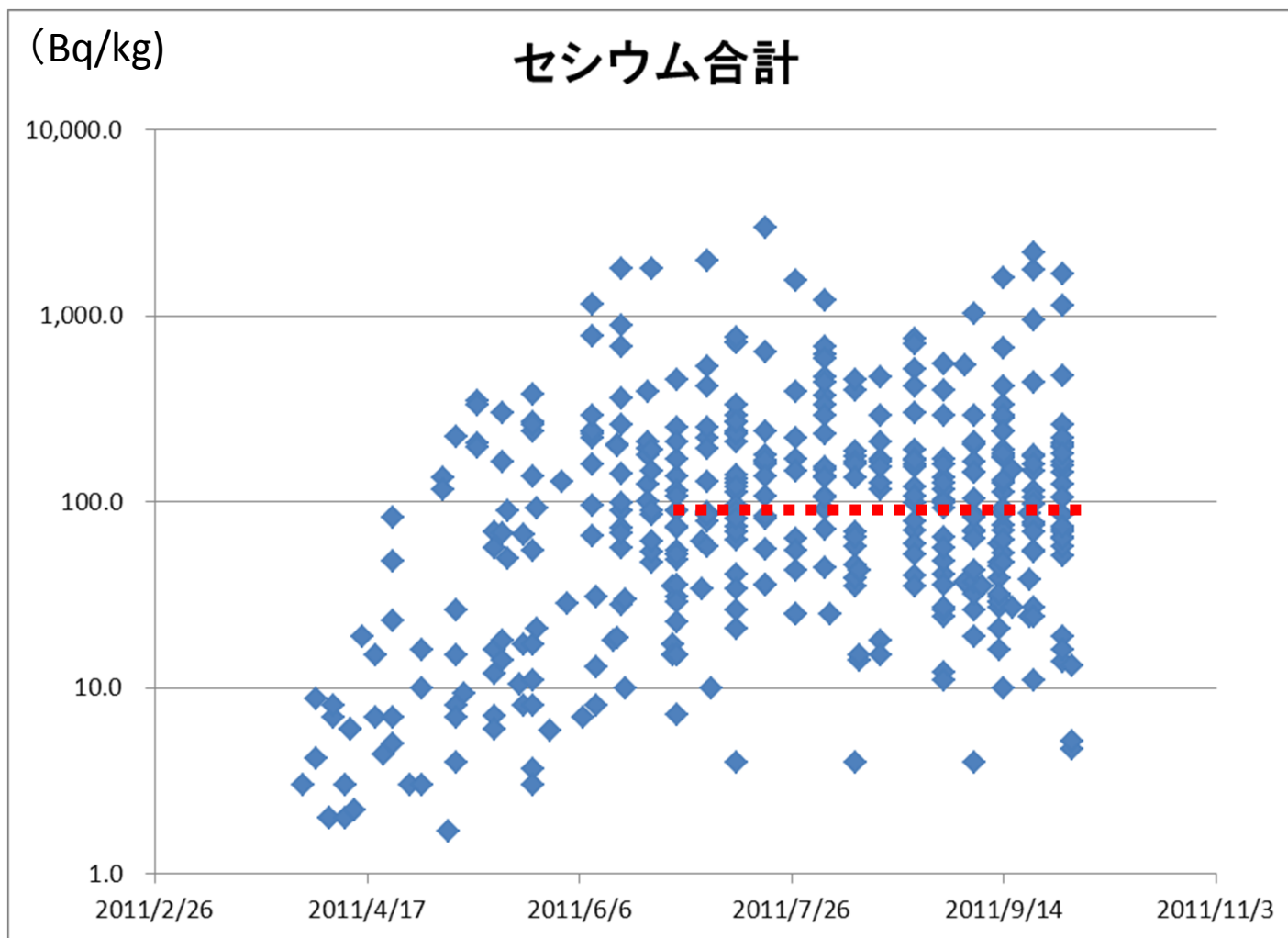
濃縮係数

# 小魚(コウナゴ・シラス)



新たな放出がない限り、ピークは過ぎた

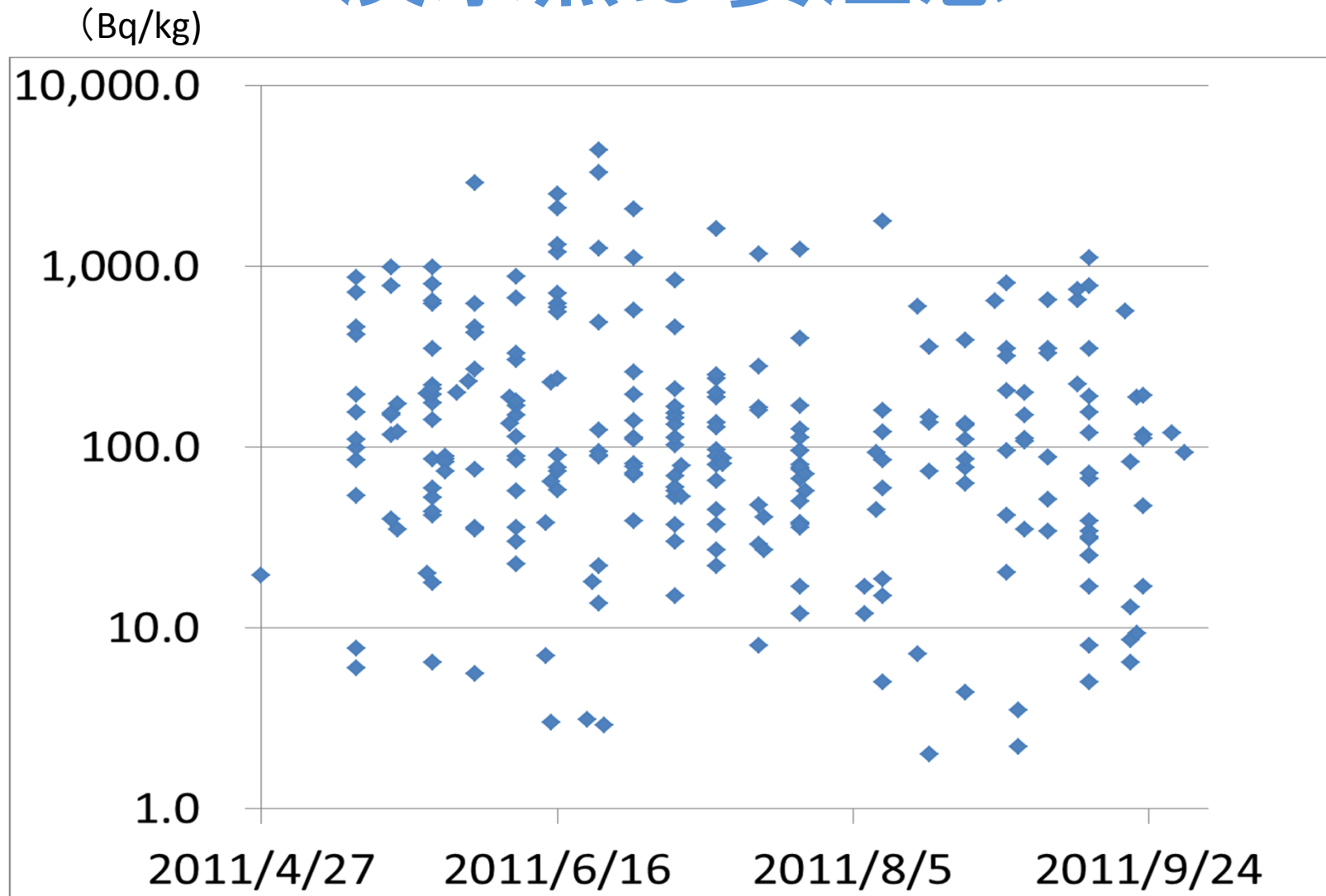
# 捕食魚(アイナメ・カレイ・スズキ)



これから半年～1年ぐらいは注意が必要

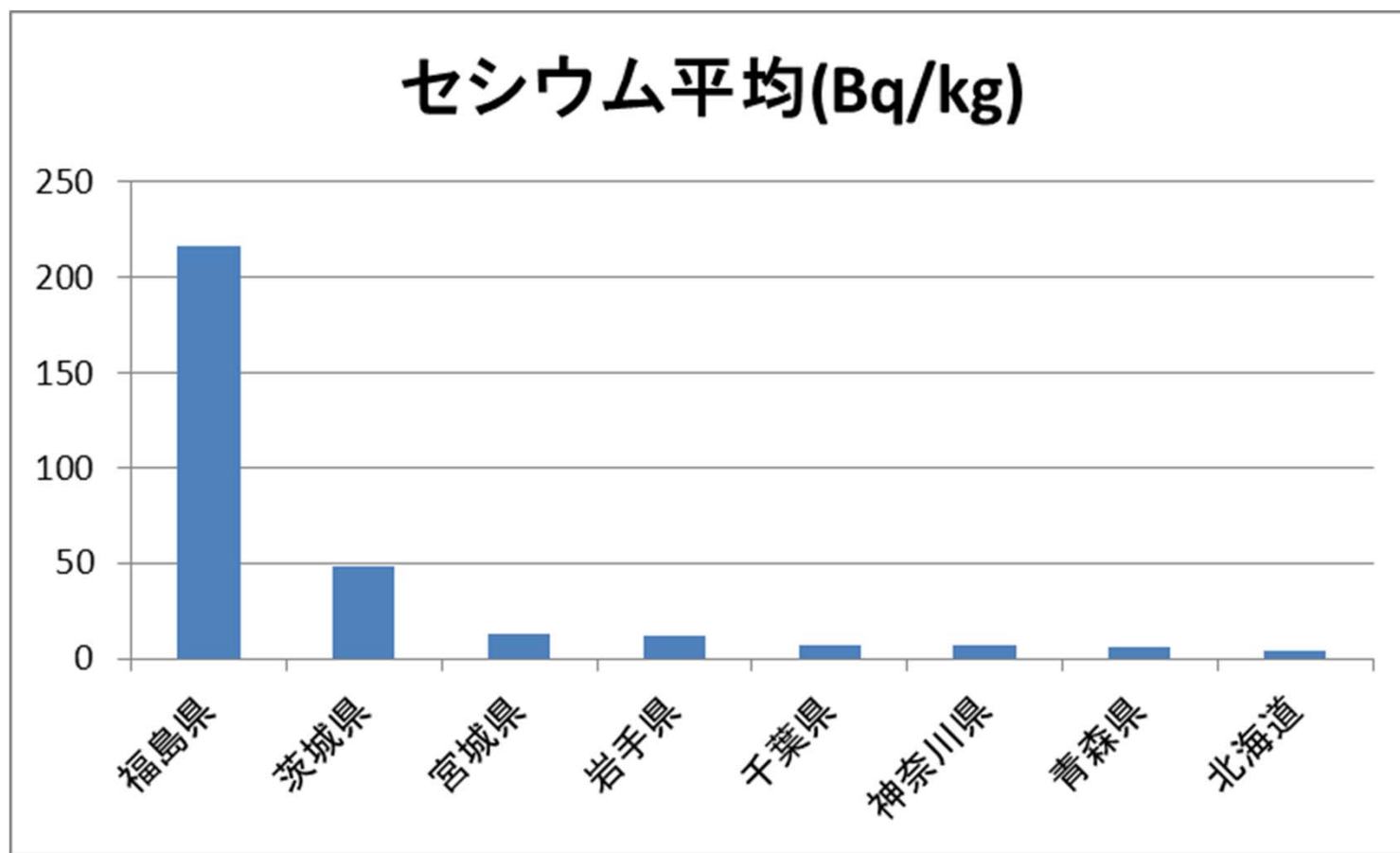


# 淡水魚は要注意



場所によっては数年かかるかも・・・

# 福島から離れれば値は下がる



# まとめ

- 要注意リスト
  - 椎茸(キノコ類)、ナッツ(栗、ぎんなん)、ベリー類、お茶、野生の動物、淡水魚、捕食魚
- 新たな放出があったら避けるべき食材
  - 葉菜、小魚